

【取組の概要】

地方公共団体は、津波浸水による被害を低減させるため、浸水した海水をいち早く排除するために排水ポンプ等の整備、また浸水しないための対策等が重要です。

【計画、整備にあたっての着眼点・留意点】

- ・梅雨や台風等の時期に大規模な災害が生じた場合、洪水や高潮などの影響による浸水被害が発生し、復旧や行方不明者捜索等の活動に支障をきたすことが危惧されます。排水ポンプ車の支援を含め、計画的な排水計画の検討を行う必要があります。
- ・東日本大震災では、津波等でポンプ場が被災しています。被災を最小限度に食い止めるため、電気系統の検討、津波が来る方向に開口部を設置しない等の対策が必要です。



出典: 東北地方整備局公表資料

[http://www.thr.mlit.go.jp/Bumon/kisya/saigai/images/34655\\_1.pdf](http://www.thr.mlit.go.jp/Bumon/kisya/saigai/images/34655_1.pdf)